

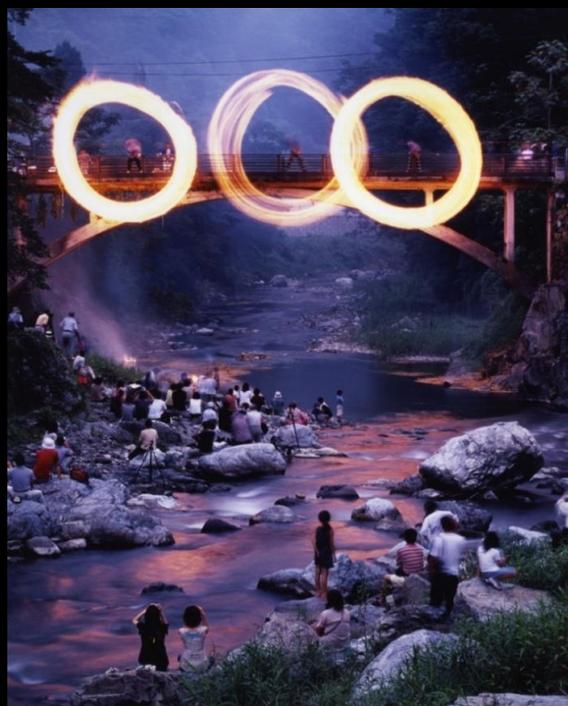


# 大日向の火とぼし

国指定 選択無形民俗文化財  
県指定 重要無形民俗文化財

「火とぼし」は南牧村の大日向地区に四百年以上も昔から伝えられてきた、県内に残されている最大級の火祭りです。火祭りの方式は「あばれ祭り」の型です。

住民の先祖が永禄四年、武田信玄軍が上州に攻め入った際、小幡の領主に反抗して、武田勢を助け小幡の軍を打ち破った時の喜びを「火祭り」の形で伝えたものといわれています。笛や太鼓とともに、南牧川に架かる大日向橋の上から、長さ二、三メートルの縄にくくり付けたワラ束を燃やし、二、三人ずつでぐるぐると回します。丸い炎の軌跡が闇の中に浮かび上がり、真夏の夜のひととき、力強さと幻想的な雰囲気包みます。



開催日 8月14日・15日 両日とも午後6時頃～

場所 群馬県甘楽郡南牧村大字大日向地区 大日向橋(安養寺付近)

●アクセス

車：上信越自動車道下仁田ICから約20分

電車：上信電鉄下仁田駅から南牧バス約20分「門札」下車

●問合せ先

南牧村役場 振興整備部情報観光課

☎0274-87-2011